

“「みんな言っているよ…」の「みんな」とは…”

よく聞く言葉に「みんな言っているよ」とか「みんな持っている」というのがあります。自分も子供の頃、親や先生に対して使ったことがあります。でも親からも、先生からも「そう」の一言だけであまり聞いてもらえなかったように思います。

歳を重ねて、いろいろな経験をしていくと、この「みんな」というの、実は自分の友達、自分と同じ考え方をしている仲間だけのことではないかと思うようになりました。人は、自分と同じ考えや気が合う人と友達になり、一緒にいることが多くなります。そういう人たちに「これどう思う？」と自分の考えについて聞いても大概は自分と似たような答え、自分に賛成する答えが返ってきます。そもそも自分と違う考え方の人とは、一緒にいることも少なく、そんな話をするところありません。そう考えると、この「みんな」は「すべての人」ではないということになります。最近自分は、自分の考えと違う人、「それ違うんじゃない？」と言ってくれそうな人と話をするのを意識的に増やすようにしています。最初は、「えっ」とか「なんで？」と、不満に思ったり、イラっとしたりすることもありましたが、話していくうちに自分の考え方の足りない部分や違ったものの見方を知ることができ、話し終えた後には、話してよかったと思えるようになりました。

皆さんはどうでしょうか。中学生なので、気の合う仲間、同じ考えの人と一緒にいることが多いと思います。今は、それでいいと思います。ただ、自分の考えと違う仲間、これを言う「それ、違うよ、こうじゃないの」という先生とも時々でいいので話してみるといいと思います。そうすることによって、皆さんの視野が広がったり、違ったものの見方を知ることができると思います。同じように苦手だなとか興味のないことにもたまにはチャレンジしてみてください。新しい自分の良さを見つけられるかもしれません。

今年度も残り3か月です。今年度中に皆さんには、「みんな」の枠を大きくしてほしいと思っています。理想は、「みんな」＝「すべての人」ですが、いきなりは難しいので、少しでも「みんな」の枠が「すべての人」に近づくように頑張ってみてください。

「怒っているとき」は、頭が悪くなる

これは、今読んでいる本に書かれている言葉です。“怒りや恐怖など強い感情にとらわれると、愚かな行動に走りやすい”とサセックス大学教授も言っています。自分はこの言葉を見た時、なるほどと思ったのと同時に反省すべきことが多いと感じました。この本によると、**怒っているときに下す判断は、まず間違っているそうです。**世の中で成功している人も感情的になることは当然あります。ただ、その人たちの共通点は、感情的になることがどれだけ損失かを理解し、感情的になってもすぐに反応せず、**感情をコントロールし、冷静になって考える方がメリットがある**ことを知っていて、その術を身につけているのです。難しいですが、自分の来年の目標にしようと思っています。皆さんもどうですか？